

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/06		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587035301	科目番号 / Course code	05870353
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13331_005		
授業科目名 / Course title	多文化共生とグローバル人材育成 (英語で学ぶオランダと西欧の文化) / The Culture and History of the Netherlands and Western Europe in English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru, 古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	多文化・教育・経済・薬学・水産		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL / Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前夜		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	日本とオランダとの交流が江戸初期から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、西欧の歴史的・文化的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の習得と文化理解を目的とします。現在の国際社会において公用語である英語で講義を提供します。		
授業到達目標 / Course goals	英語でオランダと西欧の歴史と文化、または、日蘭交流についての基本的な知識を習得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価は、定期試験40%、宿題 (課題) ・授業態度20%、英語でのレポート (又は発表) 40%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	英語・歴史・国際理解・比較文化・日蘭交流・蘭学・文化		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材・プリント教材 毎回配布します		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語での講義を受ける抵抗もあると思いますが、講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、英語能力はアップし、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ローマ帝国時代 西欧でのキリスト教の布教
第2回	カール大帝とカロリング(フランケン)帝国 十字軍 オランダ語文学の誕生
第3回	ホーランド州の発展 中世末期の危機 北ヨーロッパのハンザ貿易
第4回	スペインとポルトガル、大航海時代 エラスムスとルネサンス カール5世と神聖ローマ帝国
第5回	マルティン・ルターとプロテスタントの宗教革命 オラニエ公ウィレム1世とオランダの独立
第6回	ネーデルランデン7州連邦共和国 15・16世紀の美術
第7回	オランダ東インド会社の創立 日蘭交流、平戸・出島
第8回	オランダの黄金時代 17世紀の美術
第9回	奴隷制 啓蒙思想時代とフランス革命 ナポレオン時代
第10回	オランダ王国 ベルギーの独立
第11回	産業革命 年少労働 女性権利 印象派とフィンセント・ファン・ゴッホ
第12回	第一次世界大戦 1930年代の世界恐慌 De Stijlの美術
第13回	第二次世界大戦 冷戦時代 20世紀のオランダ
第14回	現在のオランダ 宗教と伝統・祭り・自転車の王国・など
第15回	現在のオランダ 教育とスポーツ・政治・食べ物とお菓子・など 講義の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/01/30		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587036101	科目番号 / Course code	05870361
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 13351_005		
授業科目名 / Course title	多文化共生とグローバル人材育成 (異文化接触とコミュニケーション) / Cross-Cultural Contact and Communication		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	古本 裕美 / Furumoto Yumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumoto_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教養教育B棟2階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日16時-17時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>長崎大学には、2018年5月現在、約570名の外国人留学生在います(2008年は約350名だったそうです)。日本や長崎に観光に来る外国人の数や、日本で暮らす外国人の数も年々増加しています。それに伴い、みなさんが大学や街で外国人に会う機会は、今後ますます増えることでしょう。</p> <p>この講義では、まず、"やさしい日本語"について学びます。そして、自分が普段使っている日本語やコミュニケーションの仕方について振り返ります。最終的に、日本人と外国人が共に暮らすために必要なもの・ことについて仲間といっしょに考えます。この科目は、「COC+対応」科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>a. 長崎大学や長崎県、日本にいる外国人の背景や受入に関する課題をおおまかに説明できる(1, 11)</p> <p>b. "やさしい"日本語を使って、外国人留学生とコミュニケーションができる(10)</p> <p>c. 自分が普段話したり、書いたりする日本語や、自分のコミュニケーションの仕方について客観的に捉えることができる(5, 8, 11)</p> <p>d. 日本人と外国人が共に暮らすために必要な(または大切な)もの・ことについて提案できる(2, 11)</p> <p>e. グループワークにおいて、仲間と協力しながら自分の役割を果たすことができる(9)</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身に付けて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>以下、合計100点のうち60点以上を合格とする。</p> <p>(1) 授業への取組み【5点】</p> <p>(2) やさしい日本語クイズ【10点】</p> <p>(3) レポート2回【20点+25点】</p> <p>(4) プレゼンテーション2回【15点+15点】</p> <p>(5) PBL学習計画シート【5点】</p> <p>(6) PBL個別学習サマリー【5点】</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	日本語, コミュニケーション, "やさしい", 文化, 社会, 変容, 長崎		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しません		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) / Remarks (URL)		
学生へのメッセージ / Message for students		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 (3校時)	・オリエンテーション ・日本在住外国人と訪日外国人	F
第2回 (4校時)	・"やさしい"日本語	A C
第3回 (3校時)	・「長崎にいる外国人について知る」調査の計画と実施	A B C D
第4回 (4校時)	・調査結果のまとめと分析	A B D
第5回 (3校時)	・成果発表	A B D
第6回 (4校時)	・PBL (Problem Based Learning) についての説明 ・シナリオを読む (Step1) ・キーワードの抽出 (Step2)	A B D
第7回 (3校時)	・問題提示 (Step3) ・問題の位置付け (Step4)	B D
第8回 (4校時)	・学習の計画 (Step5) ・中間発表の準備	A B D
第9回 (3校時)	・中間発表	B
第10回 (4校時)	・個別学習 (Step6)	A D
第11回 (3校時)	・学習成果の共有 (Step7)	B D
第12回 (4校時)	・学習成果の整理と発表準備 (Step8)	A B D
第13回 (3校時)	・学習成果の整理と発表準備 (Step8) ・成果発表	B D
第14回 (4校時)	・成果発表	A B D
第15回 (3校時)	・前週の発表のフィードバック ・本科目のまとめ	A

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3, 木 / Thu 4
開講期間 / Course duration	2019/06/11 ~ 2019/08/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587508901	科目番号 / Course code	05875089
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15751_005		
授業科目名 / Course title	多文化共生とグローバル人材育成 (キャリアデザイン実践) / Practical Career Design		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	白井 章詞, 古本 裕美 / Furumoto Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	白井 章詞		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	白井 章詞		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shirai nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	[多文化] 総合教育研究棟10F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2952		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:00から12:00。事前にメールで連絡して下さい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会人として仕事をしていくうえで必要となる基礎的な職業スキルを身につけます。世の中には、 たくさんの「職業」や「働き方」があります。ここでは、基礎となる「チームで働く力」「コミュニ ケーション能力」に注目しながら、企業が実際に直面している課題や問題の解決に挑戦していき ます。		
授業到達目標/Course goals	他者と協働する知識・スキルを習得すること。問題や課題を考える際、多様な視点から考えられる ようになること。アイデアを他者に説得的に伝えられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題への取り組み(40%)、討論(40%)、出席(20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業内に指示します。		
キーワード/Keywords	キャリア、キャリアデザイン、職業能力、PBL		
教科書・教材・参考書/Materials	授業内に紹介します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	企業と連携した教育実践になります。そのため、正当な理由のない遅刻、マナー違反については厳 しく対処します。 民間企業での実務経験を生かした授業となっています。		

学生へのメッセージ/Message for students	企業と連携した教育実践になります。課題に対して、積極的に取り組むことで、卒業後のキャリアや働き方についても少しずつ考えて下さい。 なお、参加企業と順番については、変更になることがあります。必ず、初回のオリエンテーションに参加して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	白井 章詞/民間企業における人事業務/日系企業、外資系企業における人的資源管理の特徴と違い事例を交えながら解説/長野日産グループ
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	他者との協働を考える(チームワークの基礎スキル)
第3回	サービス業界の動向と求める人材像
第4回	ウエディング業界における課題解決の実践
第5回	外資系金融機関における業界動向と求める人材像
第6回	タックスコンサルの実践(ビジネスゲーム)
第7回	コンビニエンス業界の動向と求める人材像
第8回	新規出店計画、もしくは新商品開発に関するワークショップ
第9回	印刷業界の動向と求める人材像
第10回	地域活性化プランの作成(ワークショップ)
第11回	エアライン業界の動向と求める人材像
第12回	空港、もしくは機内での新しいサービスの開発に関するワークショップ
第13回	旅行業界の動向と求める人材像
第14回	旅行プランの開発に関するワークショップ
第15回	全体の振り返り
第16回	全体の振り返り